

大空 (生徒・保護者向け) 61号

宮崎県立宮崎西高校・宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 校長通信

令和4年2月21日(月)

仕事着姿が一番かっこいい(附属中学校立志式式辞)

□本日の概要

- 法的な成人年齢が18歳となる中、大人の世界が近づいていることを意識し、自覚を深めるために立志式は重要な意味がある。
- 成人式は着飾る式ではなく、大人として果たさなければならない責任を自覚する日である。
- 大人になるということは、外見ではなく内面の成熟である。無批判に多数派に合わせるのではなく、少数派でも正しいと信じる道を選択できる判断力と勇気を持てるような大人になって欲しい。
- 本日のNFC 感性 行動力 自他肯定力 想像力

□立志式は何のためにあるのか

立春も過ぎ、学校周辺の木々も少しずつ芽吹き始めた今日この頃、PTA中学部会長 大野律子様をはじめ、多くの保護者の皆様のご臨席を賜り、このように立志式が挙行できますことは、誠に喜びに堪えないところであり、厚く御礼申し上げます。

さて、今年、2022年は大きな変革の年です。日本では、明治以来20歳が成人とされてきましたが、約140年ぶりに民法が改正され、今年の4月1日から、18歳が法的には成人となります。改正の理由を、法務省は「若者の自己決定権を尊重するものであり、その積極的な社会参加を促すことになる」(法務省HP Q&A)と説明しています。つまり、今年の4月からは、高校3年生は、18歳の誕生日を迎えると同時に成人となるのです。

成人になると具体的にどう変わのでしょうか。例えば、皆さんがスマホなどを契約する際、親の同意が不要になります。逆に、結んだ契約の責任は自分でとらなければなりません。世の中には様々な商品が大変魅力的な言葉で販売されていますので、ちきんとした知識や判断力がなければ悪質な業者の被害を受けるかもしれません。また、結婚については、女性の結婚できる年齢は16歳から18歳に引き上げられますが、男女とも18歳になれば法的には親の同意なしで結婚が可能になります。もちろん、何もかも18歳で可能になるわけではありません。飲酒や喫煙などは健康に影響があるため20歳のままですし、ギャンブルなどの規制も同様です。少年法の適用も20歳未満のままですが、18歳、19歳は以前より法の適用が厳しくなります。総じて、できることは増えますが、逆に子供として守られていた部分は減りますので責任も重くな

ります。そのため、このような重大な判断や責任が18歳段階で可能なのか、疑問視する意見もあるようです。

いずれにしても、皆さんは、法的にはあとわずか3年ほどで責任の重い大人と見なされるようになるのです。しかし、法律が変わったからといって、私たちの意識が急に変わるものではありません。ある程度の時間をかけて、大人の世界が近づいていることを意識し、自覚を深めていく必要があります。その意味で、立志式は成人の準備期間が始まったことを皆さんに意識させるための行事であり、昔より重要な意味を持つようになったといえるかもしれません。

□成人式は着飾る日？

法的な成人は18歳になりますが、成人式については、今のところ従来通りの20歳の時に実施しようという動きが多いようです。ただ、成人式は、各自治体が開催していますので、今後は変わっていくかもしれません。ただ、この行事が、20歳の時に行う単に着飾るだけの行事になってしまえば、「大人になる決意を固める」という本来の趣旨に反するものになり、形骸化してしまふ懸念があります。

成人式は、現在は中学校校区で行われています。私は、自分の子供の成人式に保護者として参加したり、地域の成人式に招かれて参加したりしたことがあります。昔は、お酒を飲んで暴れる新成人の態度の悪さが社会問題になったこともありますが、現在の若者は、来賓の話をきちんと聞き、式自体は整然と行われます。式の前には、再開を喜びながらあちこちで記念写真を取り合う若者の姿があり、それは微笑ましい光景でした。

しかし、それを見ながら、私自身には何かしら違和感があったのです。それは、あまりにも皆が同じスタイルだったからです。私が参加した成人式では、男性はほぼ全員がスーツ姿で、女性は全員が振り袖でした。もちろん、男性は大人びており、女性は美しく、大変似合っていたので何も問題はないのですが、全員が申し合わせたように同じスタイルであることには、若干の違和感を覚えました。

成人式は、自分の果たさなければならない義務や責任を自覚する日です。改まった態度で決意を示す日ですので、改まった服装を身につけるのは理にかなっています。だからといって、着飾らなければならないということでもありません。自分らしく、自分の決意を

示すことができれば、全員が同じでなくても良いのではないのでしょうか。

口仕事着姿が一番かっこいい

成人式に参加していて、日本講演新聞の水谷もりひと編集長の講演を思い出しました。ちなみに、この話は「日本一心を揺るがす新聞の社説2」（水谷もりひと 2011 ごま書房新社）に掲載されています。

ある年、水谷さんは、宮崎市内の、とある中学校の成人式に参加したそうです。すると、そこに若者が一人受け付けに来ました。着飾っている若者ばかりなのに、若者はクロネコヤマトの制服を着ているのです。受け付けの女性は、思わず、「一般の人の受付はあちらです」と言っただけでしたが、その青年は新成人だったのです。

宅配業界は競争が激しい業界です。もし、仕事を1日休んでしまったら、トラック1台分の配達が遅れてしまいます。彼が勤めていた営業所は人手が足りなかったようで、せつかくの自分の成人式の日なのに仕事を休むことができなかつたようです。彼は配達の間で仕事をしたが、数時間だけわずかな休みを取り、式典の会場に立ち寄ったのでした。

受け付けの女性は、「失礼しました。こちらにどうぞ、式終了後、記念撮影があります」と案内しました。すると青年は、「写真はいいです、こんな格好ですから」と言って辞退したのだそうです。全員がきらびやかなスーツや振り袖姿の中、一人だけクロネコヤマトの制服姿です。彼は、ひょっとしたらそんな自分に引け目を感じたのかもしれませんが。

すると、受付の女性は、帰ろうとする彼に、「何言ってるんですか。あなたが一番かっこいいですよ」と参加を促したのだそうです。私は、その実際の記念写真を、水谷さんの講演で見せてもらいました。美しい衣装で着飾った若者の中、たった一人、クロネコヤマトの制服姿で写っている若者がいました。本当にかっこいいと思いました。

私は、彼がどんな青年なのか知りません。しかし、仕事中、わずかな時間を作っても、自分の成人式にだけは参加したいと考えた彼の気持ちには感動を覚えました。彼は、恐らく、大人になるという決意を持って、成人式に参加したのではないのでしょうか。そして、記念写真に堂々と写った彼の姿勢にも感動しました。仕事が忙しく、苦勞はしているかもしれませんが、仕事に誇りを持っているのだと思います。自分を恥じているならば、恐らく成人式にも参加せず、記念写真にも写らないでしょう。

彼を引き留めた受付の女性にも感動しました。表面だけを飾り立てても、それは一時期だけのこと。一生懸命働いていること、それが人間にとって最も大切なことであり、その仕事着姿が一番かっこいい。それが、彼女の本心からの言葉であったからこそ、彼も理解したのだと思います。大人の女性でなければ出てこない言葉だと思います。

口大人になるということ

誤解して欲しくありませんが、私は、君たちに成人式にスーツや振り袖を着るなど言っているのではありません。ただ、何となくスーツや振り袖を来たり、何も考えずに人と同じ格好をしたりすることが大人になることではないということは理解してください。

大人になるということは、外見ではなく、内面の成長や成熟です。無批判に多数派に合わせるのではなく、少数派でも、正しいと信じる道を選択する判断力と勇気を持てるようになることが大人になることではないのでしょうか。

最後に、茨木のり子さんの、「汲む」という詩を皆さんに贈ります。皆さんが、今の初々しい感性を失わないまま、素敵な大人になることを期待して、私の式辞といたします。

汲む —Y・Yに—

茨木のり子

大人になるというのは
すれからしになることだと
思い込んでいた少女の頃
立ち居振る舞いの美しい
発音の正確な
素敵な女の人と会いました
そのひとは私の背のびを見透かしたように
なにげない話に言いました

初々しさが大切なの
人に対しても世の中に対しても
人を人と思わなくなったとき
墮落が始まるのね 墜ちてゆくのを
隠そうとしても 隠せなくなった人を何人も見ました

私はどきんとし
そして深く悟りました

大人になってもどぎまぎしたっていいんだな
ぎこちない挨拶 醜く赤くなる
失語症 なめらかでないしぐさ
子供の悪態にさえも傷ついてしまう
頼りない生牡蠣のような感受性
それらを鍛える必要は少しもなかったのだな
年老いても咲きたての薔薇 柔らかかく
外にむかってひらかれるのこそ難しい
あらゆる仕事
すべてのいい仕事の核には
震える弱いアンテナが隠されている きっと…
わたくしもかつてのあの人と同じくらいの年になりました
たちかえり
今もときどきその意味を
ひっそりと汲むことがあるのです